

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
安城大東地区

平成23年2月

愛知県安城市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	「都市型住居」の供給比率	%	0	47	3	確定 ●		あり					☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	大規模分譲マンションについては、指標計測の要件に一部適合しなかったため、目標未達成となっているが、独自のバリアフリー対策が講じられており、高齢者等の生活に配慮された住宅となっている。当指標については「その他の数値指標1」により達成状況を確認する。	
指標2	「都市型住居」の供給比率	%	28	87	87	確定 ●		あり					☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	公営住宅等の整備によりエレベーターの設置された「都市型住居」の供給比率が上昇し、高齢者等の生活利便性向上につながった。	
						見込み		なし							
指標3	定住人口	人	1,100	2,750	2,123	確定		あり	2,125	H22年6月		目標値算定に用いた一世帯人口が地区の実情に対し過大に設定されていたことから目標に到達しなかったものと考えられる。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	数値目標には達しなかったが、都市型住居の供給や都市防災機能の向上等、当地区で実施したまちづくりにより定住人口が大幅に増加したことは、効果として評価できる。	
						見込み	●	なし							
指標4	耐震性懸念住宅比率	%	40	17	16	確定		あり	15	H22年6月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	公営住宅や大規模分譲マンションの整備に加え、既設住居の耐震化が図られたことで、地区内で耐震性の懸念される住宅割合が減り、安全な居住環境が創出された。	
						見込み	●	なし							
指標5	施設の充足度	km/人	1.2	0.3	0.3	確定		あり	0.3	H22年6月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	地区内に地域交流センターが建設されたことで、交流施設の利便性が向上し地域の交流の場となっている。	
						見込み	●	なし							
事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入										フォローアップの必要のある指標について記入				全ての指標について記入	

様式4 - その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	バリアフリー達成度	%	0		48	確定	●			47	H22年6月			公営住宅や大規模分譲マンションにおけるバリアフリー対策により、高齢者等の快適な居住環境が創出された。
						見込み								
その他の数値指標2						確定								
						見込み								
その他の数値指標3						確定								
						見込み								
事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記										フォローアップの必要のある指標について記入				全ての指標について記入